

平成27年度施策評価シート(平成26年度実施事業)

作成主管課	生涯学習課
	関係課
施策名	文化財
施策コード	5-3-1

総合計画後期基本計画の内容 ※H24.2月策定

政策体系	政策 第5章 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり〔教育・文化〕 小政策 3 個性と創造性豊かな笠間の文化を広げていきます
現況と課題	本市に残され、継承されている文化財は、歴史や風土を知るうえで欠かせないものであると同時に、新たな発展の素材となり得る財産です。そして、緑豊かな田園や里山、生活の風景は、本市の魅力となっています。しかしながら、継承する地域における高齢化や財政的な問題から、後世へ継承していくことが困難な状況にあります。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、市が誇る有形文化財にも、著しい被害が発生し、修復には時間と技術を要する状況にあります。本市では、文化財の調査、研究を実施しながら、年次的に文化財の指定を行うとともに、資料館における展示や環境整備を進めてきました。また、開発によって貴重な文化財を損失することがないように、適切な埋蔵文化財保護体制の確立に努め、平成23年には、郷土意識の高揚を図るため、合併後初となる新笠間市史を発刊しました。今後は、地域資源を生かしたまちづくりを進めるうえでも、その基礎となる本市の有形・無形文化財について、関係機関と連携し適切な保護・活用を図りながら、情報発信にも力を入れていく必要があります。
施策目標	市の魅力向上や今後の地域づくりに資する資源として、地域との協力のもと、さまざまな機会を通じた情報発信や関係機関との連携を図りながら、専門性や承継体制を確立し、歴史的・文化的資源の保全と活用を推進します。

1 総合計画進行管理

市民からの意見・反応等	地元で管理している文化財を次の世代に引き継いだときに管理をしてもらえるのか心配している。
-------------	--

(1) 目標指標1

市民実感度指標		H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
歴史的・文化的資源が有効に活用されていると感じている市民の割合	市民実感度	38.160	34.230	31.120	29.600		
	加重平均値	2.334	2.298	2.330	2.192		
当施策を重要と感じている市民の割合	重要度		79.220	80.120	82.540		
	加重平均値		3.226	3.158	3.220		

(2) 目標指標2

数値指標		単位	H23現状値	H24	H25	H26	H27	H28
資料館の入場者数 (笠間市立歴史民俗資料館)	目標値	人		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
	実績値	人	1,575	1,296	1,460	1,579		
	達成度	%		108.00	121.70	131.58		
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							
	目標値							
	実績値							
	達成度	%						
	ベンチマーク							

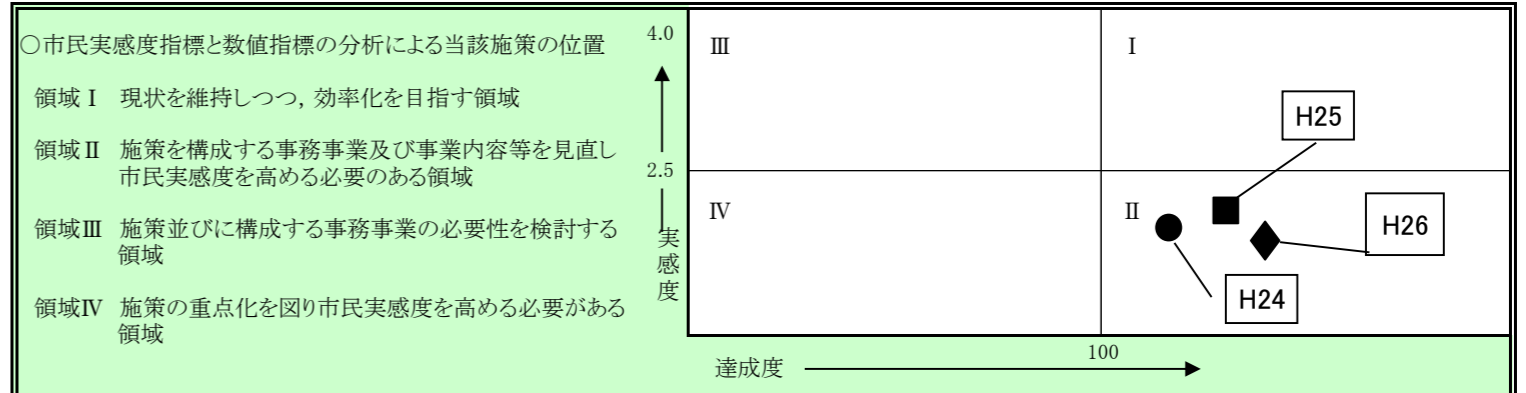
数値指標の考え方	指標設定の考え方	歴史的・文化的資源の保全と活用が図られているか、歴史的・文化的資料を展示している歴史民俗資料館の入場者数とした。
	目標値設定の考え方	歴史民俗資料館の入場者数拡大を目指し、年間入場者数を10人増とした。

2 施策の成果向上に向けての市民と行政との役割分担をどう考えるか

市民の役割	市民(地域・団体・事業所)が自助でやるべきこと。共助でやるべきこと。市と協働でやるべきこと。 市民一人ひとりが文化財保護の意識を持ち、地域や団体が協力しながら保護し、後世に継承していく。
行政の役割	市がやるべきこと。県がやるべきこと。国がやるべきこと。 文化財の維持管理を適切に行い、文化財の展示や情報の発信により保護・継承に努める。

3 平成26年度の取組状況

取組状況等	取組み内容と成果、成果が得られた要因として考えられること。 <ul style="list-style-type: none"> 収集した史料の整理・保存を進め、笠間図書館、友部公民館、市民センターいわまで資料を展示して活用を図った。 文化財に関する広報活動を行うとともに、指定文化財を管理する所有者等に補助金を交付し、文化財の保護に努めた。 笠間城跡の保存を図るため震災で崩落した石垣を調査し、応急処置を実施した。 開発に伴う埋蔵文化財の照会業務、現地調査及び試掘(25件)を行い、埋蔵文化財の保護に努めた。
-------	--



指標を分析した結果施策目標は達成されたのか

達成度評価	市内に残る貴重な文化財の保存・活用を行うことができた。また、事業の実施等を通じ、市民が身近な地域の歴史や文化を学び、文化財保護の意識醸成が図れた。
-------	---

施策目標を達成するための手段(事務事業)の構成は妥当か

構成事務事業の適正性	文化財の保護及び調査、情報発信に関する事業であり、歴史的・文化的資源の保全と活用には必要な事業であり、妥当と思われる。
------------	---

平成27年度以降に残る課題、その要因として考えられること。

残された課題	発掘された遺物を現在郷土資料館倉庫に保管しているが、取壊しの方針であり、代替の保管場所を至急を確保しなければならない。埋蔵文化財の保全については、開発の際に保存措置が法的に求められる現状で、市民の関与が限定的であるため、関心か薄い。笠間城跡を保存するためには、関係機関との調整、市民への広報が重要となる。
--------	--

5 今後の方向性

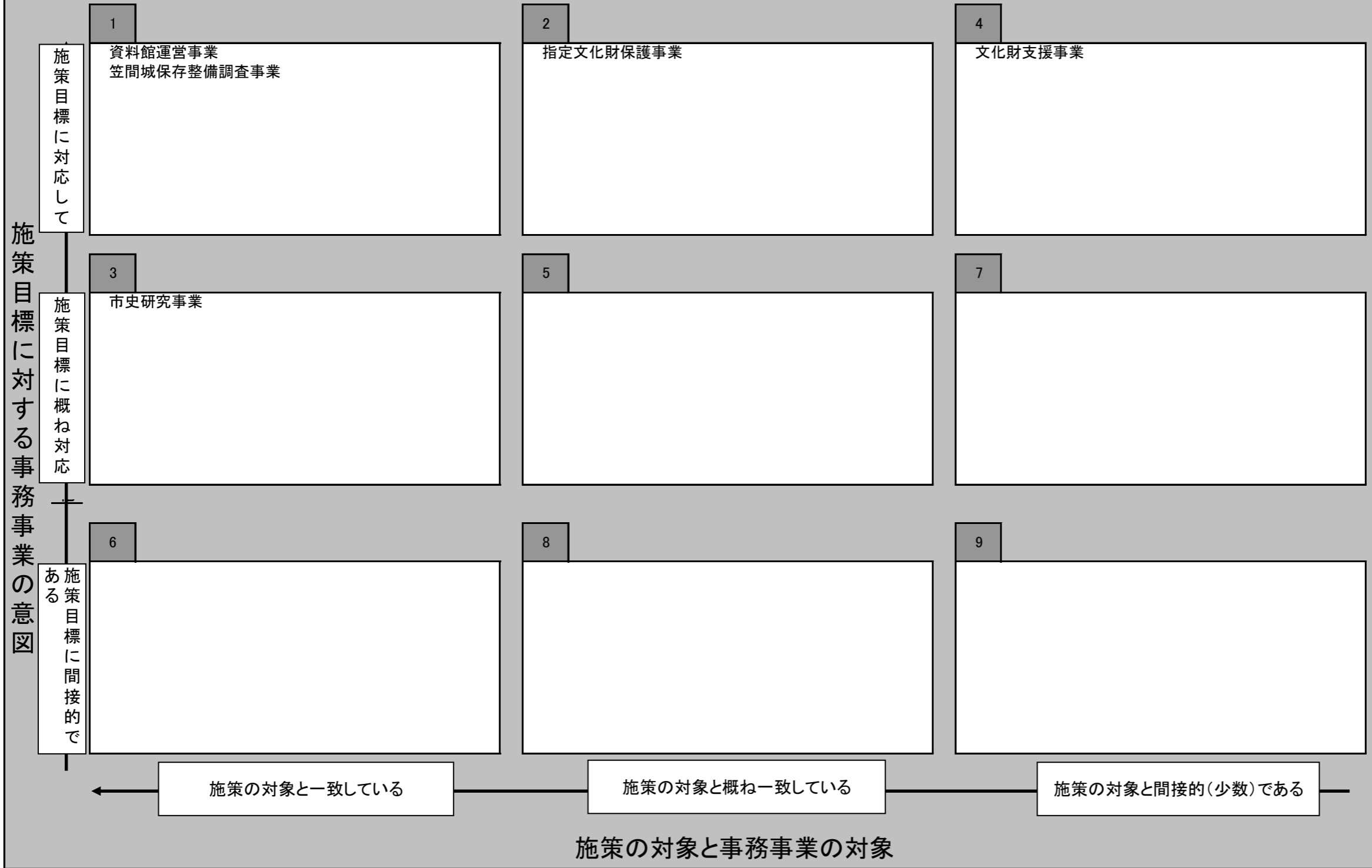
取組方針	平成28年度に向けた施策方針 歴史的・文化的資源の保全と活用を図り、後世に継承していくために、歴史資料の収集・整理を進め、広報活動や情報発信により文化財・埋蔵文化財の保護に努める。
------	---

シート3-1 施策構成事務事業貢献度評価

施策を構成する事務事業	事業内容	事務事業性質	成果			補助区分	事業費(千円)			貢献度評価		
			成果指標	単位	平成24年度		平成25年度	平成26年度	平成24年度		平成25年度	平成26年度
1 市史研究事業	笠間市の歴史を後世に継承し、郷土意識の高揚を図るため、市史編さん等に伴い、収集した資料を整理し、資料の活用、市史の研究に努める。	政策的事業	資料数 資料展示日数 笠間の歴史探訪掲載回数	点 日 回	—	—	118 6	市単	973	1,312	1,113	5
2 指定文化財保護事業	文化財の適正な管理、保存等を図るため、国指定・県指定・市指定文化財の修復及び維持管理に係る経費の補助金として所有者又は管理団体に対し交付する。	政策的事業	修復等件数	件	2	2	4	市単	195	540	932	3
3 笠間城保存整備調査事業	笠間城は現在に至るまで本格的な調査がおこなわれたことがなく、考古学、歴史学などの学術関係者を含めた調査を進め、市指定部分だけでなく下屋敷などを含めた近世城、中世城、寺院郡跡の全容を明らかにし、県史跡、国史跡の指定を目指し、地域全体の保存を図る。	政策的事業	報告書印刷数	冊	—	300	20	市単	—	3,834	11,180	2
4 文化財支援事業	東日本大震災により被災し、多くの指定文化財が損壊したため、修復費用の一部を支援し、早急な文化財の修復を目的として補助金を交付する。	政策的事業	文化財修復数	件	9	4	1	市単	3,489	1,676	79	6
5 資料館運営事業	歴史資料・民俗資料等の収集、保存、活用により市民の歴史研究の一助とするとともに貴重な資料を将来に向けて継承していく。	維持管理事業	入館者数	人	1,296	1,460	1,579	市単	3,043	5,899	1,973	1
6 埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財は、地域の歴史と文化に根ざした歴史遺産である。その埋蔵文化財を保護するため、埋蔵文化財包蔵地を把握し、開発事業に対して現地確認や試掘調査・発掘調査を実施する。	義務的事業	埋蔵文化財保護件数	件	5	10	25	市単	370	837	1,271	義務的事業
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
事業費合計									8,070	14,098	16,548	

シート1 施策構成事務事業目的直結度評価

施策名 文化財



法定受託事務(義務的事業に分類)
埋蔵文化財保護事業

事務事業の成果基準の説明

シート2施策構成事務事業貢献度評価

施策名 文化財

施策の目的に対する事務事業の目的の直結度

- 非常に高い 1
- 高い 2 3
- 中 4 5 6
- 低い 7 8 9

1 資料館運営事業	2 笠間城保存整備調査事業	4
3 指定文化財保護事業	5 市史研究事業	7
6 文化財支援事業	8	10
9	11	12

成果は高い (上位)

成果はやや高い (中位)

成果は普通 (中位)

成果は低い、ほとんど出ていない若しくは把握できない(下位)

事務事業の成果

事務事業の休廃止検討エリア

法定受託事務(義務的の事業に分類)

埋蔵文化財保護事業

事務事業の成果基準の説明